

学校改善を規定する学校文化の要因に関する調査

中留, 武昭

九州大学教育経営教育行政学研究室 : 教授 : 学校経営学, 教育行政学, 教育制度学

<https://doi.org/10.15017/824>

出版情報 : 教育経営教育行政学研究紀要. 3, pp.131-143, 1996-05-20. 九州大学教育学部教育経営教育行政学研究室

バージョン :

権利関係 :

学校改善を規定する学校文化の要因に関する調査

九州大学教育経営学研究室
(代表 教授 中留武昭)

—— おねがい ——

1. 時下、校長先生におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。校務ご多忙な折、突然にこのような調査のご協力をお願いする非礼をお許し下さい。この調査は、校長先生を対象にして、学校改善を促進するための学校の文化的要因を明らかにするためのものです。なお、本調査は福岡市内の小・中学校の校長先生を悉皆調査の対象にさせていただいております。調査結果はコンピューターによって処理し、教育研究（文部省科学研究費一般研究C 代表中留武昭）の資料にさせていただきます。研究の発表にあたっては貴学校名ならびに貴職のお名前は公表いたしませんので、日頃お考えになられている通りのご記入いただければ幸いです。
2. この調査票は、平成8年2月25日までに同封の封筒にてご返送くださいますよう、お願い申し上げます。
3. この調査に関するご質問がございましたら、下記の研究室までお問い合わせください。
4. なお、ご希望がございましたら、調査結果を報告させていただきますので、調査票の裏面に送付先をお書き添え下さい。

問い合わせ先：〒812-81 福岡市東区箱崎6-19-1
九州大学教育学部教育経営学研究室
電話092-641-1101
教授 中留武昭（内線3356）
助手 元兼正浩（内線3372）

何卒ご協力くださいますよう重ねてお願い申し上げます。以下、A調査、B調査双方をご回答下さい。

学校改善を規定する学校文化の要因に関する調査

A調査（設問Q1～Q8） N=106

Q1. 今、貴校における教育課題の中で最も重要な分野はどれですか。1～13の中から一つだけ選んでご記入下さい。

1 学校週5日制への対応	3
2 いじめ、校内暴力、不登校問題への対応	7
3 新しい学力観の教育の充実	32
4 学習指導法の工夫（TT等含め）	8
5 教員研修の活性化（校内研修含め）	19
6 人権尊重教育の推進（同和教育含め）	4
7 個性化教育	0
8 心の教育	9
9 基礎・基本の学力保障	12
10 国際化、情報化、生涯学習社会など社会の変化への対応	6
11 開かれた学校への転換	2
12 児童・生徒の減少への対応	2
13 その他（ ）	2
	106

Q2. 上のQ1で○をつけた教育課題を改善していくために、現在とりくんでいる戦略（方策、ストラテジー）のうち、下記に挙げる1～11のなかから、重要なものを二つだけ選び、重要な順にその記号を書き入れて下さい。

	第1位	第2位
1 教育目標の具現化（具体化）	8	4
2 教育課程内容の改革	9	4
3 組織体制づくり	10	15
4 教頭・主任等のリーダー層教員の育成	6	7
5 若い教員層の育成	2	4
6 校内研修の活性化	25	27
7 授業の改善	25	16
8 教職員団体への対応	4	4
9 学校風土や雰囲気活性化	5	7
10 生徒指導（いじめ、不登校問題含む）の対応	6	7
11 地域社会や家庭との連携	5	11
12 その他（ ）	1	0
	106	106

SQ. 上のQ2で第1位に選んだ教育課題の改善の程度は現時点でどのくらいですか
該当する記号を記入して下さい。

1 かなり改善された	20
2 やや改善された	55
3 あまり改善されていない	29
4 全く改善されていない	2

学校改善を規定する学校文化の要因に関する調査

Q3. 日常的に校長としてリーダー行動をとられる際に主に次の分野のいずれに重点を置かれていますか。下記の1～10の中から、「実際」に重点を置いているもの、また、「理想」として重点を置くべきと考えているものを、それぞれ選んでご記入下さい。

	実 際	理 想
1 教育目標・教育計画の策定	12	32
2 教育課程の管理	15	12
3 校務分掌の合理化	13	9
4 児童・生徒の直接的指導	22	2
5 同和教育	7	1
6 研修・研究	31	31
7 施設および事務	0	0
8 学校評価	1	10
9 PTAおよび地域社会	5	7
10 教育行財政	0	1
	106	105

Q4. ご体験から、校長先生の全校集会での講話は、関係者の行動を結果的にどの程度、変える可能性をもっているものとお考えですか。下記A～Eのそれぞれについてお答え下さい。

	かなり ある	やや ある	あまり ない	まったく ない
A 教職員の教育使命観を喚起することになる	27	64	12	2
B 学校全体の雰囲気醸成することになる	45	57	3	0
C 親の学校に対する態度を変えることになる	5	60	37	2
D 児童生徒の成長を促進することになる	40	65	0	0
E 校長自らのリーダー行動を変えることになる	28	66	10	0

Q5. 校長先生としての教育信条（信念）を一行見出し風に端的にご記入下さい。

学校改善を規定する学校文化の要因に関する調査

- Q6. 校長としてリーダーシップをとられる場合、主として次の1～4のどの項目に重点を置いておられますか。「実際」に重点を置いている項目と「理想」として重点を置くべきだと思われる項目とを1つずつ選んでご記入下さい。

	実 際	理 想
1 校務の合理的処理に焦点をあてる	23	34
2 教職員の直接的教育活動（特に授業）の支援に焦点をあてる	51	48
3 職員室での雰囲気改善に焦点をあてる	24	14
4 児童、生徒の学習活動（授業を含む）を直接指導することに焦点をあてる	8	9
	106	105

- Q7. 校長としてのリーダー行動をとることを困難にさせている要因（分野）は何ですか。下記の1～14の中から、順位第2位まで番号でご回答下さい。

	第1位	第2位
1 校務分掌の負担のアンバランス	3	2
2 教職員構成（年齢・男女比）のアンバランス	10	11
3 施設、設備の不備	2	4
4 教頭・主任等のリーダー層教師の力量不足	25	13
5 教頭との連携	1	0
6 子どもを取り巻く環境(国際化、情報化、生涯学習など)の変化による教育計画作成の際の不透明性	8	5
7 教職員間の教育観のちがひ（対立）	26	23
8 P T A, 地域社会のニーズ	0	7
9 学校週5日制の進行	0	2
10 教育課程管理の非弾力性、形式性	7	9
11 学校財政面の不備	3	12
12 児童・生徒間にのみつながっている価値観、裏文化	4	1
13 職員団体との軋轢（あつれき）	15	14
14 教育委員会（事務局）との軋轢（あつれき）	0	1
	104	104

- Q8. 今後の学校の役割として校長先生ご自身が望ましいとお考えのことは、次の1・2のどちらに近いでしょうか。

1 今後の学校の役割は、知・徳・体のうち、徳・体は家庭教育や社会教育に重点を移しながら、知育に集中させ、学校のスリム化をはかるべきである。	20
2 今後の学校の役割は、知・徳・体のバランスを全体としてこわさないように、スリム化をはかるべきである。	86

学校改善を規定する学校文化の要因に関する調査

B調査(設問Q9～Q12)

以下、校長先生ご自身の判断でお答えください。

Q9-1. 下記のAからKまでの各項目について、あなたの学校の「現状」に照らし合わせると、次の1～5のどの考えに近いでしょうか。それぞれの項目について、該当する番号に○印をお付け下さい。

- | |
|--------------|
| 1 全くそのとおりである |
| 2 かなりそうである |
| 3 ややそうである |
| 4 あまりそうではない |
| 5 全くそうではない |

Q9-2. また、そうした「現状」を当然と考えている(当然視するであろう)教師は、どのくらいいると思われますか。A～Kの各項目について、該当する番号に○印をお付け下さい。

- | | |
|--|---|
| 「現状」を当然と考えている教師が、
<u>かなり多い</u> 場合は | 1 |
| 「現状」を当然と考えている教師が、
<u>半数くらい</u> の場合は | 2 |
| 「現状」を当然と考えている教師が、
<u>かなり少ない</u> 場合は | 3 |

	9-1 「現状」の認識					9-2 当然視する 教師の割合		
	全く そう	かなり そう	やや そう	あまり ない	全く ない	多い	半数	少ない
A わが校では、校長の教育信条(理念)が子どもにまで浸透しにくい。	4	10	21	59	10	18	40	45
B わが校では、全校の目標や計画の達成に対しての関心や、参加に対する同僚教師の意識が低い。	3	17	34	41	10	27	38	37
C わが校では、同僚と共に働くことに意欲的な雰囲気欠けている。	1	9	22	64	9	20	31	52
D わが校では、自分のしていることが学年や分掌とどうかかわっているのかはっきりしない。	2	8	25	58	11	18	36	49
E わが校では、学級や教科の間でも子どもの活動に関するコミュニケーションが流れにくい。	0	6	24	60	15	16	34	51
F わが校では、校長が教師とインフォーマルな話し合いの機会をもつことが少ない。	1	8	21	61	14	23	35	42
G わが校では、職員会議で意見やアイデアが出されてもそれらがとりあげられて実現されることが少ない。	0	5	21	65	13	14	44	44
H わが校では、仕事に対する責任があいまいである。	3	7	21	51	22	18	23	62
I わが校では、親との間に対立葛藤が生じている。	2	3	25	68	7	18	29	56
J わが校では、親に「学校まかせ」の傾向がある。	3	24	35	39	4	28	40	35
K わが校では、職員室に日常のあたたかな雰囲気が少ない。	0	6	18	55	26	17	32	55

学校改善を規定する学校文化の要因に関する調査

SQ1. 上のQ10-2の「現状」を当然と考えている教師の割合について1の「かなり多い」とご回答した項目の中で、**校長先生ご自身も共感される（「もっともだ」と思われる）項目（A～K）を1つだけ選んで、該当する記号をお書きください。**

SQ2. 上のA～Jの項目のうち、**わが校における学校改善を進めていく上で、もっとも「阻害要因」となっている項目を1つだけ選んで、該当する記号をお書きください。**

	SQ1	SQ2
A わが校では、校長の教育信条（理念）が子どもにまで浸透しにくい。	5	5
B わが校では、全校の目標や計画の達成に対しての関心や、参加に対する同僚教師の意識が低い。	7	3 3
C わが校では、同僚と共に働くことに意欲的な雰囲気欠けている。	7	4
D わが校では、自分のしていることが学年や分掌とどうかかわっているのかはっきりしない	2	6
E わが校では、学級や教科の間でも子どもの活動に関するコミュニケーションが流れにくい。	3	6
F わが校では、校長が教師とインフォーマルな話し合いの機会をもつことが少ない。	1	3
G わが校では、職員会議で意見やアイデアが出されてもそれらがとりあげられて実現されることが少ない。	2	5
H わが校では、仕事に対する責任があいまいである。	4	6
I わが校では、親との間に対立葛藤が生じている。	8	3
J わが校では、親に「学校まかせ」の傾向がある。	1 5	1 7
K わが校では、職員室に日常のあたたかな雰囲気が少ない。	3	0
	5 7	8 8

学校改善を規定する学校文化の要因に関する調査

Q10-1. 下記のAからJまでの各項目について、あなたの学校の「現状」に照らし合わせると、次の1～5のどの考えに近いでしょうか。それぞれの項目について、該当する番号に○印をお付け下さい。

- | |
|--------------|
| 1 全くそのとおりである |
| 2 かなりそうである |
| 3 ややそうである |
| 4 あまりそうではない |
| 5 全くそうではない |

Q10-2. また、そうした「現状」を当然と考えている（当然視するであろう）教師は、どのくらいいると思われますか。A～Jの各項目について、該当する番号に○印をお付け下さい。

- | | |
|--------------------------------|---|
| 「現状」を当然と考えている教師が、
かなり多い場合は | 1 |
| 「現状」を当然と考えている教師が、
半数くらいの場合は | 2 |
| 「現状」を当然と考えている教師が、
かなり少ない場合は | 3 |

	10-1 「現状」の認識					10-2 当然視する 教師の割合		
	全く そう	かなり そう	やや そう	あまり ない	全く ない	多い	半数	少ない
A わが校では、学校全体の教育課程の編成は、校長をはじめ教務主任レベルまでしか関与していない。	3	12	16	40	33	25	26	51
B わが校では、学習指導要領が自由で創造的な教育活動を制約している。	1	2	11	64	27	23	25	54
C わが校では、教科書が自由で創造的な教育活動を制約している。	1	0	5	70	29	23	15	64
D わが校では、進学のための指導が自由で創造的な教育活動を制約している。	0	5	11	53	31	23	18	57
E わが校では、教科に関する従来の指導方法をかえることをあまりしない。	5	26	34	29	11	25	45	31
F わが校では、教科の年間計画の作成や授業の工夫は、教科や学年の組織でとりくむよりも教師の個人的工夫にまかせている。	4	13	24	49	14	23	38	41
G わが校では、授業評価において、特に統一した評価項目を教師間で作成していない。	6	22	20	33	24	29	37	36
H わが校では、生徒指導における規律づくりを担当部門にまかせている。	1	7	21	54	21	18	32	52
I わが校では、もっぱら教師が生徒集団の中に秩序をつくっている。	0	18	35	41	7	22	43	35
J わが校では、教師が特別活動の計画・実施を教科の授業の計画・実施ほどには重視していない。	2	17	26	48	10	22	37	42

学校改善を規定する学校文化の要因に関する調査

SQ1. 上のQ10-2の「現状」を当然と考えている教師の割合について1の「かなり多い」とご回答した項目の中で、校長先生ご自身も共感される（「もっともだ」と思われる）項目（A～J）を1つだけ選んで、該当する記号をお書きください。

SQ2. 上のA～Jの項目のうち、わが校における学校改善を進めていく上で、もっとも「阻害要因」となっている項目を1つだけ選んで、該当する、記号をお書きください。

	SQ1	SQ2
A わが校では、学校全体の教育課程の編成は、校長をはじめ教務主任レベルまでしか関与していない。	8	6
B わが校では、学習指導要領が自由で創造的な教育活動を制約している。	3	3
C わが校では、教科書が自由で創造的な教育活動を制約している。	1	1
D わが校では、進学のための指導が自由で創造的な教育活動を制約している。	8	5
E わが校では、教科に関する従来の指導方法をかえることをあまりしない。	12	38
F わが校では、教科の年間計画の作成や授業の工夫は教科や学年の組織でとりくむよりも教師の個人的工夫にまかせている。	5	9
G わが校では、授業評価において、特に統一した評価項目を教師間で作成していない。	10	10
H わが校では、生徒指導における規律づくりを担当部門にまかせている。	2	1
I わが校では、もっぱら教師が生徒集団の中に秩序をつくっている。	7	8
J わが校では、教師が特別活動の計画・実施を教科の授業の計画・実施ほどには重視していない。	4	8
	60	89

学校改善を規定する学校文化の要因に関する調査

Q11-1. 下記のAからNまでの各項目について、あなたの学校の「現状」に照らし合わせると、次の1～5のどの考えに近いでしょうか。それぞれの項目について、該当する番号に○印をお付け下さい。

Q11-2. また、そうした「現状」を当然と考えている（当然視するであろう）教師は、どのくらいいると思われますか。A～Nの各項目について、該当する番号に○印をお付け下さい。

- | |
|--------------|
| 1 全くそのとおりである |
| 2 かなりそうである |
| 3 ややそうである |
| 4 あまりそうではない |
| 5 全くそうではない |

	11-1 「現状」の認識					11-2 当然視する 教師の割合		
	全く そう	かなり そう	やや そう	あまり ない	全く ない	多い	半数	少ない
A わが校では、学校の活性化や改善についてあまり話題にならない。	1	15	36	41	9	22	49	25
B わが校では、教師間で個人的悩みなどを相談し合うことが少ない。	0	12	28	59	3	16	45	34
C わが校では、ふだん子どもたちの成長ぶりを話題にすることが少ない。	0	2	17	65	19	18	34	44
D わが校では、教職員に「われわれ」という意識が少ない。	2	6	27	60	7	20	38	37
E わが校では、何事につけても工夫よりも慣行や伝統の方を重視しやすい。	1	15	45	37	4	20	49	26
F わが校では、職員会議で各自の意見がでにくい雰囲気がある。	1	8	15	64	15	19	33	44
G わが校では、何事につけても、職員団体としての活動や考え方が前面に出される。	11	5	17	41	19	31	24	41
H わが校では、教育に対する使命観などはふだんあまり話題にならない。	5	16	33	44	5	21	50	25
I わが校では、校内研修は意欲的にやりたがらない。	4	14	32	41	12	18	45	33
J わが校では、時代や社会の動向や情報はあまり話題にならない。	2	14	28	51	8	17	52	27
K わが校では、事務的仕事の処理が忙しすぎる。	5	28	30	38	2	33	44	19
L わが校では、地域社会や親のことをあまり話題にしたがらない。	1	7	18	65	11	17	37	42
M わが校では、授業をお互いに見せたがらない。	1	13	24	40	25	26	30	40
N わが校では、体罰に無関心を装う雰囲気がある。	0	1	8	68	25	17	22	56

学校改善を規定する学校文化の要因に関する調査

SQ1. 上のQ11-2の「現状」を当然と考えている教師の割合について1の「かなり多い」とご回答した項目の中で、校長先生ご自身も共感される（「もっともだ」と思われる）項目（A～N）を1つだけ選んで、該当する記号をお書きください。

SQ2. 上のA～Nの項目のうち、わが校における学校改善を進めていく上で、もっとも「阻害要因」となっている項目を1つだけ選んで、該当する記号をお書きください。

	SQ1	SQ2
A わが校では、学校の活性化や改善についてあまり話題にならない。	8	5
B わが校では、教師間で個人的悩みなどを相談し合うことが少ない。	3	1
C わが校では、ふだん子どもたちの成長ぶりを話題にすることが少ない。	0	1
D わが校では、教職員に「われわれ」という意識が少ない。	3	1
E わが校では、何事につけても工夫よりも慣行や伝統の方を重視しやすい。	4	10
F わが校では、職員会議で各自の意見がでにくい雰囲気がある。	3	3
G わが校では、何事につけても、職員団体としての活動や考え方が前面に出される。	8	24
H わが校では、教育に対する使命観などはふだんあまり話題にならない。	6	8
I わが校では、校内研修は意欲的にやりたがらない。	2	9
J わが校では、時代や社会の動向や情報はあまり話題にならない。	2	2
K わが校では、事務的仕事の処理が忙しすぎる。	22	21
L わが校では、地域社会や親のことをあまり話題にしたがない。	0	2
M わが校では、授業をお互いに見せたがらない。	3	4
N わが校では、体罰に無関心を装う雰囲気がある。	1	0
	65	91

学校改善を規定する学校文化の要因に関する調査

Q12-1. 下記のAからIまでの各項目について、あなたの学校の「現状」に照らし合わせると、次の1～5のどの考えに近いでしょうか。それぞれの項目について、該当する番号に○印をお付け下さい。

- | |
|--------------|
| 1 全くそのとおりである |
| 2 かなりそうである |
| 3 ややそうである |
| 4 あまりそうではない |
| 5 全くそうではない |

Q12-2. また、そうした「現状」を当然と考えている（当然視するであろう）教師は、どのくらいいると思われますか。A～Iの各項目について、該当する番号に○印をお付け下さい。

- | | |
|--------------------------------|---|
| 「現状」を当然と考えている教師が、
かなり多い場合は | 1 |
| 「現状」を当然と考えている教師が、
半数くらいの場合は | 2 |
| 「現状」を当然と考えている教師が、
かなり少ない場合は | 3 |

	12-1 「現状」の認識					12-2 当然視する 教師の割合		
	全く そう	かなり そう	やや そう	あまり ない	全く ない	多い	半数	少ない
A わが校では、学級定員の多いことを理由にして、一人ひとりの児童・生徒を指導しようとするとり組みが少ない。	1	10	11	60	22	22	16	60
B わが校では、教育目標の実現（具現化）ということとはふだんあまり話題にならない。	6	21	45	26	5	33	41	24
C わが校では、児童・生徒間のいじめは学校や学級の雰囲気に関わりがあるのではないかということがふだんから話題にならない。	0	5	23	59	16	15	41	42
D わが校では、学級の雰囲気は一般的に受容的、積極的というよりも、むしろ消極的、沈滞的な傾向にある。	2	7	15	70	9	14	33	51
E わが校では、教師が学級間の歩調をそろえることを特に重視している。	7	30	37	28	1	35	42	21
F わが校では、子どもにとって学級は、自由に発言をしにくい場となっている。	0	5	15	67	16	15	23	59
G わが校では、児童・生徒の遊び仲間が同じ学年や学級であることの方が多い。	3	42	29	21	6	37	35	24
H わが校では、児童・生徒が集団の規範（ルール）をつくるよりも教師がつくることのほうが多い。	0	25	37	37	3	27	43	26
I わが校では、学級の中で孤立している子どもが目立つ。	0	2	15	80	5	17	27	52

学校改善を規定する学校文化の要因に関する調査

SQ1. 上のQ12-2の「現状」を当然と考えている教師の割合について1の「かなり多い」とご回答した項目の中で、校長先生ご自身も共感される（「もっともだ」と思われる）項目（A～I）を1つだけ選んで、該当する記号をお書きください。

SQ2. 上のA～Iの項目のうち、わが校における学校改善を進めていく上で、もっとも「阻害要因」となっている項目を1つだけ選んで、該当する記号をお書きください。

	SQ1	SQ2
A わが校では、学級定員の多いことを理由にして、一人ひとりの児童・生徒を指導しようとするとりくみが少ない。	7	4
B わが校では、教育目標の実現（具現化）ということとはふだんあまり話題にならない。	14	42
C わが校では、児童・生徒間のいじめは学校や学級の雰囲気に関わりがあるのではないかとということがふだんから話題にならない。	5	6
D わが校では、学級の雰囲気は一般的に受容的、積極的というよりも、むしろ消極的、沈滞的な傾向にある。	4	6
E わが校では、教師が学級間の歩調をそろえることを特に重視している。	15	10
F わが校では、子どもにとって学級は、自由に発言をしにくい場となっている。	2	1
G わが校では、児童・生徒の遊び仲間が同じ学年や学級であることの方が多い。	14	4
H わが校では、児童・生徒が集団の規範（ルール）をつくるよりも教師がつくることのほうが多い。	5	11
I わが校では、学級の中で孤立している子どもが目立つ。	0	1
	66	85

学校改善を規定する学校文化の要因に関する調査

最後に、貴校および校長先生ご自身についておうかがいします。

学校種別	小学校 ・ 中学校	(小学校62・中学校44)
学校規模(学級数)	学級	
教職員数	人 (男 人 女 人)	
職員団体の加入率	約 %	
校長としての経験年数(通算)	約 年 ヶ月	
本校における校長経験年数	約 年 ヶ月	
教育行政経験の有無	有(約 年) ・ 無	(行政経験あり 58)
教頭職経験の有無	有(約 年) ・ 無	(教頭経験あり101)
性別 (男・女) 年齢 () 歳		(男96・女8)

もしよろしければ、学校名をご記入ください。 _____

何かご意見がございましたら、ご自由にお書き下さい。

※ご回答まことにありがとうございました。